



令和4年度 第1回富士山ごみ減量大作戦



富士山ごみ減量大作戦は、ふじさんネットワーク、静岡県、地元市町及び静岡第一テレビ24時間テレビチャリティー委員会との共催で実施しており、令和4年度の第1回目を6月18日(土)に富士市桑崎で開催しました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一般ボランティアは募集せず、関係者のみでの実施となりました。



側溝のごみ拾いの様子

参加者21名で富士山こどもの国付近の道路(国道469号)沿いを清掃し、約40kg(可燃ごみ30kg、不燃ごみ10kg)のごみを回収しました。

回収されるごみの種類や回収量は、こ

み拾いを行うタイミングにより様々ですが、ごみは捨てられ続けており、お菓子の包装やタバコの吸い殻等の小さいごみから、廃タイヤや電化製品等の大型のごみまで、多様なものが捨てられています。



新型コロナウイルス感染症感染者数が減少し、ボランティアの皆様の参加募集が可能になりましたら開催のお知らせをしますので、その際は御協力いただけると幸いです。



路肩のごみ拾いの様子

MN×REPORT



根原県有地の草原維持

富士山麓の特徴的な自然景観の一つとして、広大な草原が挙げられます。朝霧地区の草原は、静岡県版レッドデータブックの「今守りたい大切な自然10選」にも指定されている貴重な場所です。



草刈作業中

富士宮市根原の根原県有地は、朝霧地区の草原の一部として、数百種類の植物をはじめ、鳥類や昆虫類等、様々な動物の生活の場となっています。

草原の状態を維持し、草原特有の生態系を保全するためには、人為的に管理を行う必要があります。根原県有地でも草刈りが続けられてきました。

令和4年度の草刈りが、特定非営利

活動法人富士山自然の森づくりの皆様によつて9月から行われています。今年度は梅雨から夏にかけての天候の影響か、草丈が高く作業が大変のようです。

令和3年度に引き続き令和4年度も、10月29日(土)に、常葉大学社会環境学部(木・祝)には、ボランティアの皆様にご参加いただき、富士山草原性植生保全活動体験を行いました。

皆様の参加や理解を得ながら草原性植生の保全を進めていきたいと考えておりますので、来年度以降も参加者募集の際には、是非参加をご検討ください。



作業道草刈り後

